

地域ネットワーク ニュース 第23号

▼はじめに

このニュースレターは、八戸市連合町内会連絡協議会での取り組みや八戸市内の連合町内会・町内会・自治会での活動などを紹介し、相互の情報共有や各町内会等での活動に役立てていただくこと、さらには、市民の皆さまにもお読みいただき、町内会の活動への関心を高めていただくことを目的に発行するものです。

内容

- 1 地域リーダー応援講座開催**
.....1 ページ
- (1) 町内会だよりコンクール受賞作品紹介.....2 ページ
- (2) 『地域の底力』実践プロジェクト取組事例紹介.....3 ページ
- 2 働き世代・子育て世代/不動産関係団体との意見交換会開催**
.....4 ページ

地域リーダー応援講座を開催しました!



令和2年2月1日（土）、八戸グランドホテルを会場に「地域リーダー応援講座」を開催しました。町内会関係者や地域活動に関心がある方など約80名の方々が参加されました。

講座は二部構成になっており、第一部「町内会だよりコンクール表彰式」では、入賞作品の町内会だよりを紹介し、効果的な情報発信の手法を学ぶ機会としていただきました。

第二部「『地域の底力』実践プロジェクト取組事例紹介」では、八戸工業大学 創生デザイン学科長 教授 高橋史朗氏による基調講演の後、白山台と高館の2地域に取組を紹介していただきました。



➡ 町内会だよりコンクールの受賞作品紹介は2ページ、
『地域の底力』実践プロジェクト取組事例紹介は3ページです。

町内会だよりコンクールは、町内会の情報発信力の向上を目的に実施しています。当コンクールの評価基準は、単に技術面だけでなく、町内会活動について分かりやすく説明され、共感がもたれる内容となっているか、レイアウトの見やすさや、工夫・活用に加え、組織体制など普段は見えにくい部分についても評価の対象としています。今年度は応募いただいた 10 作品中、6 作品が受賞しました。



高館ニュータウン町内会

『高館ニュータウン広報』

★活用・工夫

子供会や老人クラブ等の各係からも情報を集め、毎月発行することで、町内会活動を全町民に理解してもらえるよう努力・工夫している。

★審査員講評

やわらかい印象を与えるイラストの効果的な配置や、カラーをうまく使うことで限られた紙面に多量な情報を見やすく載せている。



東根城町内会

『東根城』

★活用・工夫

町内以外の方や学校関係者に添削や指導をいただいて、分かりやすい記事内容と写真、見やすい紙面づくりを心掛けている。

★審査員講評

町内会の活発な活動がうかがえる記事や、町内会以外の方と連携している点、また、A4・4頁にもわたる力作に敬意を表する。



南田面木町内会

『南田面木町内会だより』

★活用・工夫

役割を分担し、編集には女性のセンスを生かしてもらおうよう期待している。また、他町内の方にも見てもらえるよう、学校や公民館へ掲示を依頼している。

★審査員講評

文字を少なく、写真を多用し、見やすくかつ伝わりやすい記事の工夫に好感を持てる。背景の色も見やすさに一役買っている。



南糠塚町内会

『南糠塚町内会だより』

河原木県営町内会

『県営第一ニュース版』

岬台二丁目町内会

『町内からのお知らせ』

★受賞作品は、市役所 本館 1 階 地域コミュニティ情報コーナーに展示中！

または、インターネットから

八戸市 町内会だより



で検索！





基調講演 デザイン思考で地域の企画を考える 戸工工業大学 創生デザイン学科長 教授 高橋史朗氏

日々多様化が進む地域の人々と暮らし、今とこれからの地域課題解決に向けたアプローチとして「引き算の思考」についてお話をいただきました。ご講演では、予算や人手をかけることなく、もっと自由に、より実りのある地域の企画実践に向け、従来の「みんなが楽しい大きなイベント」ではなく、参加者である地域住民や企業等それぞれの立場や本音を考え、「明快な目的と対象者を絞り込んだ小さなイベント」に分けることが重要と述べられ、参加された皆さんは新たな視点での講演に、熱心に聴き入っていました。



1 白山台地域 「しおんの森」びらき しおんの森と遊歩道の環境美化とその利活用

★目的

- ・「しおんの森」と遊歩道において、地域住民による環境美化に取り組み、その活動を定着させることで、地元愛を増進したい。
- ・特に「しおんの森」は地域住民による運営管理を強化し、子どもを中心とした遊びやイベントなどを開催することで活気ある緑地にし、故郷の思い出となるような「憩いの森」として有効活用したい。

★取組概要

- ・「しおんの森びらき」
(花火大会、ミニスポーツ大会、苗植え体験)
- ・白山台地域 web「白山台ドットコム」の活用

★今後の方針・展望

子ども達の「ふるさとの思い出」として記憶に残し、地元に戻るきっかけを作る。



◆芝桜の苗植え体験◆



◆ミニスポーツ大会◆

2 高館地域 高館地区ウォークラリー「高館・夏の陣」(仮) 高館キッズに地域の魅力を伝えるために

★目的

- ・イベントを通して、世代間の交流を図るとともに、子ども達に高館地域の魅力を伝えることで、地域への愛着を持ってもらい、郷土愛を育てていきたい。
- ・青年部を中心にイベントを実行していくことで、地域活動の実践体験を積んでもらい、町内会の次世代を担う人材育成をさらに図っていききたい。
- ・イベントを地域全体で作り上げることで、同じ地域に住む住民同士の絆を深めたい。

★取組概要

- ・高館地区ウォークラリー「高館・夏の陣」(仮)の開催
(ウォークラリー参加者 85 名、ボランティアスタッフ 113 名、来賓 4 名 総勢 204 名の参加)
- ・参加者、ボランティアとともにアンケートを実施し、報告書を作成

★今後の方針・展望

イベントを子ども達に楽しんでもらい、「素敵な思い出」を記憶に残すことで、将来の地域活動への参加につなげる。



働き世代・子育て世代の意見交換会を開催しました。



◆高館地区連合町内会青年部による取組紹介◆



◆意見交換の様子◆

令和元年 11 月 14 日（木）、「働き世代・子育て世代の意見交換会」を開催しました。町内会、青年部、PTA、子ども会の役員など各地区から若手 31 人の方に参加いただきました。

◆内容◆

- (1)八戸市における町内会・自治会の現状
(加入促進の取り組み)
- (2)地域で学ぶインターネットセキュリティ講座
八戸 IT・テレマーケティング未来創造協議会
- (3)事例紹介
高館地区ウォークラリー「高館・夏の陣」(仮)
(平成 30 年度～令和元年度「地域の底力」実践プロジェクト)
高館地区連合町内会 青年部
- (4)意見交換

意見交換では、発表事例や地域活動、PTA 活動の悩み・課題等についてテーブル毎、自由に意見を交わし、個々人の意見を付箋に書き出させていただきました。高館の取り組みについては、企画力&実行力、地域丸ごとの取り組み姿勢が素晴らしいとの意見を多くいただきました。

不動産関係団体との意見交換会を開催しました。



加入促進ミニのぼり

不動産事業所の
カウンターに
置いていただき
ます。

令和元年 12 月 18 日（水）、「不動産関係団体との意見交換会」を開催しました。

この意見交換会は、平成 25 年 9 月に協定を締結している(公社)青森県宅地建物取引業協会八戸支部、(公社)全日本不動産協会青森県本部、八戸市連合町内会連絡協議会と八戸市により定期的に開催しています。

町内会加入率の推移や現在の取組について現状把握と情報共有後、集合住宅等賃貸物件居住者の加入促進に向けた課題や方策について意見交換を行いました。

編集発行：八戸市連合町内会連絡協議会（事務局：八戸市総合政策部市民連携推進課）
〒031-8686 八戸市内丸 1-1-1 市庁舎本館 4 階
電話番号：0178-43-9182 FAX 番号：0178-47-1485
ホームページ：

八戸市 市連合

